

大雨・洪水に関する注意報・警報について

気象庁から、下記のような場合に「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。「注意報」「警報」「特別警報」は関係行政機関、都道府県や市町村へ伝達され防災活動等に利用されるほか、市町村や報道機関を通じて地域住民のみなさんへ伝えられます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
<p>大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。</p> <p>洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。</p>	<p>大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。</p> <p>洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。</p>	<p>大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。</p> <p>「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。</p>

「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります

- 大雨などのときには、テレビやラジオなどで最新の注意報・警報・特別警報の発表状況を確認するようにしましょう。また、NTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。
- 淡路市に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページで知ることができます。

避難情報を入手して早めの行動を

避難情報は、災害の状況に応じて3段階に分けて発表します。どの情報かを確認し、適切な行動をとってください。

●避難情報の種類と、とるべき行動

情報の種類	発表時の状況	とるべき行動
避難準備情報	災害による人的被害の発生する可能性が高まってきている状態。	高齢者、子ども、障がいがある方など、避難に時間を要する方は、早めに自主的な避難行動を開始してください。
避難勧告	災害による人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態。	すべての住民は指定された避難場所に避難を始めます。
避難指示	切迫した状況であり、災害による人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状態、または人的被害が発生した状態。	まだ避難していない住民は直ちに避難します。万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動をとります。

●情報伝達の流れ

